

小児医療への寄附をご検討されている方々へ

かながわ県立病院 小児医療基金の ごあんない

事務局

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
横浜市南区六ツ川 2-138-4
045-711-2351 (代表)
E-mail : kcmc-kifu@kanagawa-pho.jp



小児医療の向上を目指して

かながわ県立病院小児医療基金は、平成7年に患者さんご家族からの寄附金を基に設立され、その後も小児医療に関する研究等への助成、機器備品等の整備、そして患者さんご家族の療養環境の向上を目指した事業等への支援の3分野に使わせていただき、診療・研究・良好な療養環境に幅広く貢献しています。

用途に関しては病院で責任をもって扱っておりますが、年月とともに範囲が拡大し、子どもたちの笑顔が増し加わっているように思います。

今後も、こどもたちにより良い医療を提供し小児医療の向上のために役立ててまいりますので、お力添えをいただきますようお願いいたします。

神奈川県立こども医療センター
総長 町田 治郎

いただいた寄附金は、次の事業に使われます。



小児医療の向上に
寄与すると認められる
研究への助成



小児医療に寄与する
器機備品等の整備



非営利活動法人等が行う
患者や家族の療養環境の向上を
目指した事業への支援

NICUで頑張る低出生体重児、様々な疾患をもつ赤ちゃん、そして家族のために…

新生児科 豊島部長

神奈川県内最大である神奈川県立こども医療センターの新生児集中治療室（NICU）は、2019年に21床から27床に増床したうえで全面リニューアルの改築を予定しています。赤ちゃんの救命のみならず、そこで長期間時間を過ごすご家族全体が快適に過ごせる“集中治療と家族生活を両立できるNICU”に生まれ変わりたいと考えています。赤ちゃんとそのご家族が穏やかに過ごし、ご家族の絆を育むことを応援する設備やアメニティー購入にご寄付を募りたいと切望しています。

ドラマ「コウノドリ」のNICUのモデルだった当院ですが、コウノドリの世界のその先、“より良い未来”を目指していきたいと考えています。日本でこれまでになかったような“温かなNICU”を皆様とともに作りたく願っています。多くの皆様にお力添えをいただければ心強く感じます。



NICUに入院する赤ちゃん

1 小児医療の向上に寄与すると認められる研究への助成

小児医療基金では、小児疾患の診断、治療及び患者のQOLの向上に寄与すると認められる研究などに対して、助成を行います。

平成28年度は小児がんや先天性疾患に関するものなど、小児専門病院ならではの研究テーマが延36件採択されました（前年度からの繰り越し含む）。

また、年に1度、研究成果報告会が開催され、寄附者の皆様にもご出席いただき中、研究成果の報告を行っております。その他、研究成果はホームページでもご覧いただけるようになっております。



2 小児医療に寄与する器機備品等の整備



活用例 1

患者さん用のバギー

広い収納スペースにたっぷり荷物が入るバギーです。しっかりとした造りで安定感があり、安心して使用することができます。毎日フル稼働しています。



活用例 2

保育用品の整備

入院中の子どもたちの療養環境をよりよいものにするために、保育用品の充実、また季節の行事を催しています。

3 非営利活動法人等が行う患者や家族の療養環境の向上を目指した事業への支援



子どもに寄り添う
ベイリー

小児医療基金では、次のような事業への支援にも寄附金を活用しています。こども医療センターには、こどもたちの検査に付き添ったり、歩行訓練を手伝うなど、治療に関わる活動を補助するファシリテッドッグ「ベイリー」「アニー」が常勤で勤務しています。「ベイリー」「アニー」は当センターの医療に理解のある非営利活動法人シャイン・オン・キッズから看護師でもあるハンドラーとともに派遣されています。こども医療センター内で活動するボランティア団体オレンジクラブは、個人参加グループが15、団体加入グループが15あり、入院・入所中の子どもたちのお話し相手、四季折々の手づくりの飾りつけ、屋上庭園のお花の手入れなど多岐にわたり、施設内を彩ります。



オレンジクラブの
活動の様子

リラのいえは、入院のために遠方から来られる患児と付き添い家族のための滞在施設です。入通院する患児のきょうだい児預り保育も実施し、ご家族を精神的・経済的にサポートするために、NPO法人スマイルオブキッズが運営しています。



患者家族滞在施設「リラのいえ」

寄附金控除について

ご寄附は寄附金控除の対象となります。詳しくは事務局までお問合せください。